

カンタン取替!木製システムキッチン

設置説明書

もくじ

1. 設置される方へのお願い	1
2. 安全上のご注意	2
3. 設置前のご確認	4
4. 設置方法	6
5. 仕上げ	12
6. 安全点検および試運転	13
7. お願い事項	13



1. 設置される方へのお願い

- キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書は、ワークトップおよびフロアベースキャビネットのものです。その他のキャビネットおよびビルトイン機器・水栓金具は、それぞれに添付する設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- 設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください

設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

	このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告



ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。
手袋をしないで切断面に触ると、けがをするおそれがあります。



電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがい、必ず「有資格者」が行なってください。
接続や固定が不完全な場合は、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。



加熱機器周りの壁面仕上げについては、火災予防条例にしたがい、有効な防火性能を有する仕上げであることを、必ず確認してください。
下地処理が不十分な場合は、火災の原因になることがあります。



キャビネットの固定下地には、ネジ固定位置を中心に、十分な強度を持つ厚み12mm以上・幅100mm以上の合板が貼られているか確認し、所定の付属ネジを使用して、手順通り確実に行ってください。



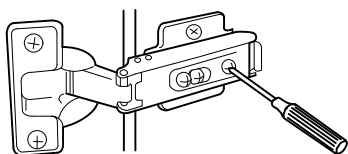
説明書に記載されている内容以外で、製品の分解、現場加工や改造はしないでください。
キャビネットや扉、引出しが落下し、けがをするおそれがあります。

ネジ打ち部分に下地材が無かったり、下地材の強度が不足している場合や、短いネジ・細いネジを使用するとキャビネットが転倒して大事故につながります。

注意



設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番の緩みのないことを必ず確認してください。



扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。



排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取り付けしないでください。



排水能力が低下して、シンクから水があふれ、床を汚すおそれがあります。



設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示に従って正しくお使いください。



誤った使い方をすると、人体に影響がでたり、使用部材の損傷や劣化の原因となるおそれがあります。



包丁差しを取付ける時は、ネジの緩みや浮きのないよう正しく取り付けてください。
取付け方を誤ると、使用中に包丁差しがはずれてけがをするおそれがあります。



キッチンに組み込まれる電気製品・調理機器・レンジフード・および水栓金具等は、それぞれの設置説明書・製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。

設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。



排水器具・排水ホースの取付および接続部分のシールは確実に行ってください。
取付けやシールが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。



事前工事の取付機は関連する法令に従って、有資格者が行なってください。

キャビネットが落下してけがをするおそれがあります。



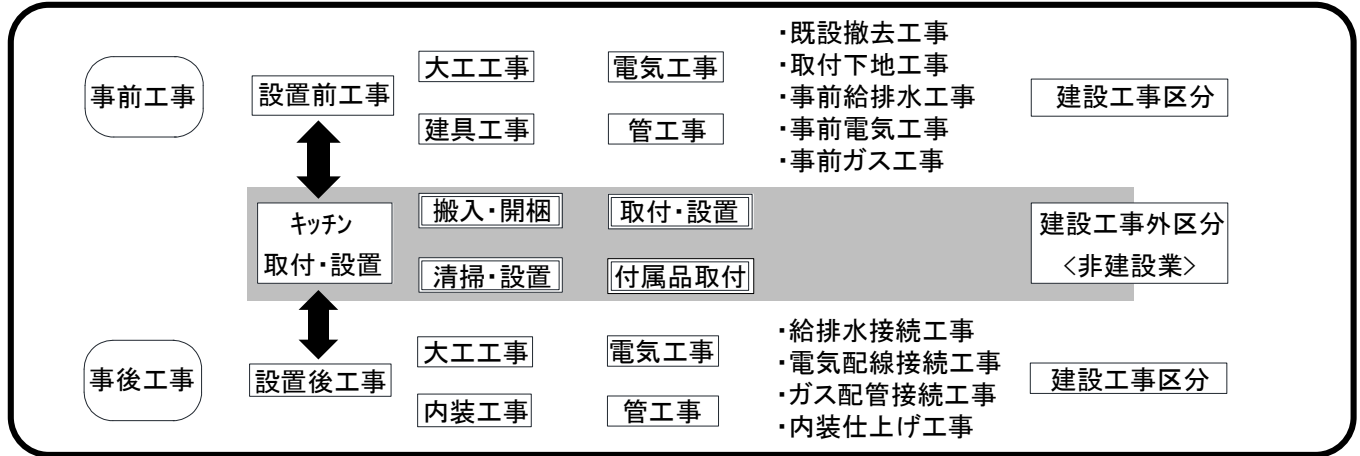
引出を持ち運ぶ時は、ギャラリールール部分を持たないでください。
ギャラリーが外れて引出が落下してけがをするおそれがあります。



ねじで固定する場合は、かならずドライバーで行い、締めすぎによる空転や頭つぶれがないようにしてください。
キャビネットが落下してけがをするおそれがあります。

基本工事区分について

- 本説明書は、キッチンの本体組立・設置と関連工事（建設工事）である 大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）などと区別して説明しています。
- 建設工事は関連する法令・規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。
- 流通業者様からの発注で下請けとして本体の「取付・設置」を行う場合は、建設工事部分とキッチン本体「取付・設置」を区分して行ってください。
- 設置前工事、設置後工事の一部でも含む場合は、建設工事となります。



■キッチン 工事区分

参考：キッチン・バス工業会『工事区分ガイドライン』

工事区分	部位 (図)	業種 区分	作業名称(区分)	建設工事					建設工事外 キッチン	作業内容
				大工 工事	管 工事	電気 工事	ガス 設備 設置	取 付		
設置前工事	1 3	大工 管	外壁の開口工事	○	○					レンジフードのダクト用の建築壁の穴あけ工事
			建築壁の下地処理工事	○						ウォールキャビネット等の取付のための下地処理工事
			幕板取付壁下地処理工事	○						天井・壁等の幕板等取付のための下地処理工事
			アンカー、吊ボルト工事	○						吊戸棚、レンジフード等のアンカー、吊ボルト工事
			換気機器用ダクトの関連工事		○	○				建築物の事前ダクト配管等の工事
			キッチンパネル下地処理工事	○						キッチンパネルを貼るための建築壁の下地処理工事
	2	電気	レンジフードの電気工事			○				建築の屋内配線と配線器具(コンセント)工事
			IH調理機器の電気工事			○				IH調理機器専用の200Vの事前電気工事
	4 5	ガス 管	ウォールキャビネット部分の電気工事			○				照明器具等の電気工事
			ガス調理機器のガス配管工事		○					ガス調理機器用の事前ガス配管工事
本体取付設置	システムキッチン	建設工事外区分	キッチンパネルの取付 【注記 1】					□		製品を加工して建築下地へ取付
			製品間のシリコン充填 【注記 2】					□		製品間の隙間を仕上げる処理作業
			レンジフードの取付 【注記 1】					□		本体及び化粧パネルを取付ける作業
			ウォールキャビネットの取付					□		ウォールキャビネットを取付ける作業
			ベースキャビネット・ワークトップの取付					□		ベースキャビネット・ワークトップの組立・調整して設置する作業
			排水部品の組立 【注記 3】				□	□		排水部品とシンクの組立
			水栓類の組立・ワークトップへの取付 【注記 1】					□		水栓、浄水器同梱部材の組立(ワークトップへの取付)
			ビルトイン機器の取付 【注記 1】					□		ビルトイン機器のキッチン本体への組込作業
	設置後工事	電気 管	試運転・完成検査 【注記 4】					□		完成後の試運転、性能確認検査
			ウォールキャビネット照明器具工事			○				事前配線の電源線と照明器具の接続、検査
設置後工事	2 3	電気 管	電気配線器具の取付			○				スイッチ、コンセント等の電気配線工事
			レンジフードとダクト接続工事		○					建築ダクトとレンジフードの接続、検査
			その他電子機器の工事			○				電気機器と電源線、アースの接続工事
			ガス調理機器のガス配管接続工事				□			ガス調理機器のガス栓との接続工事(資格要)
	4 5	ガス 管	給水・給湯配管と水栓の接続工事		○					給水・給湯の一次側と水栓の接続、検査
			給水・給湯配管とオプション機器の接続工事		○					オプション機器と一次側給排水の接続、検査
			建築側排水配管への接続工事		○					キッチン排水配管と建築側排水配管の接続、検査

- ※【注記 1】 原則、現場支給製品は支給側で取付実施とする。
- ※【注記 2】 当社製品間のみ実施する場合が多い。但し、現場により打合せにて作業範囲を決定する場合がある。
- ※【注記 3】 給排水配管の仕様や状況により、排水部品の組付作業範囲を打合せにて決定する。
- ※【注記 4】 製品の完成検査、試運転は、工事完成後に行う場合が多い。但し、原則、商品取付完了時に検査、試運転が可能な範囲のみキッチン設置者が実施する。

快適にご使用いただくために必ずお守りください。

設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボールをひく等の養生を施し、キズがつかないように十分注意してください。

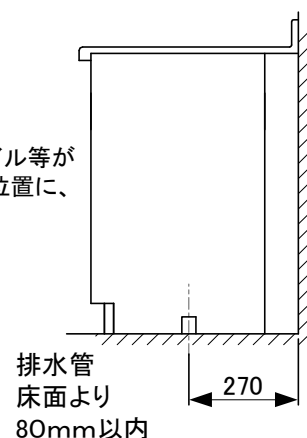
設置作業中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落したりしないように十分注意してください。

汚れを取る場合は水ぶきまたは中性洗剤をご使用ください。
溶剤系統の薬品や漂白剤等は絶対使用しないでください。表面が侵されるおそれがあります。

3. 設置前のご確認

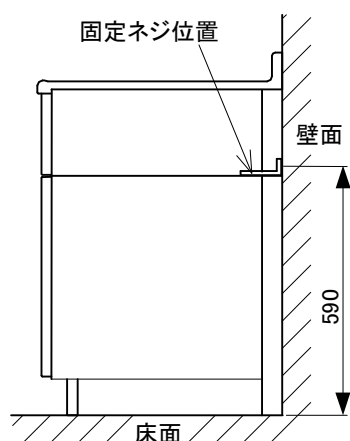
- 注文した製品が納入されているか確認してください。
- 設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
- 設置する場所の両端が壁の場合、壁間の寸法がワークトップ間口より6～7mm以上長いことを確認してください。
- 下記の項目についてその位置を確認してください。
 - (1) 排水管位置
 - (2) 建築側のガス管・電気配線接続位置
 - (3) レンジフードの排気口位置
 - (4) 機器類の電気配線位置
- ガス種、電圧(100V、200V)、周波数(50Hz、60Hz)を確認してください。
- オプション品については、付属の説明書をお読みください。

※壁面とキャビネットとの間にタイル等が設置される場合は左記の排水位置に、その厚み分を加えてください。

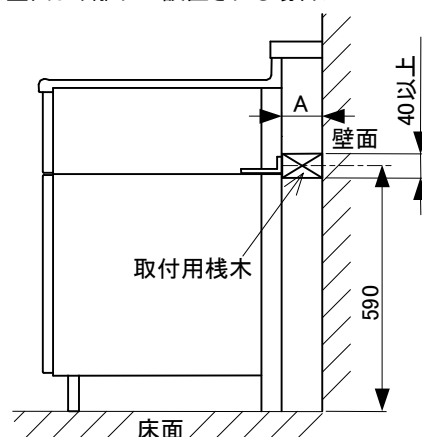


<スライドタイプコンロキャビネットの場合>

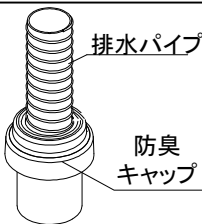
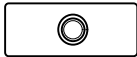
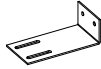
- キャビネット固定位置の壁面下地が十分な強度を有するかを確認してください。
- キャビネットが壁面より離れて設置される場合は、取付用棧木(下図A寸法に合わせた木質材巾40mm以上:現場手配)をネジ等で取り付けてください。



<壁面より離れて設置される場合>

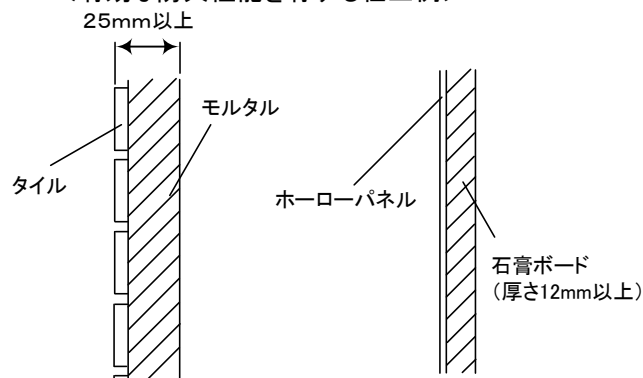


●各商品に下記の付属部品および組付用小物セットがあるか確認してください。

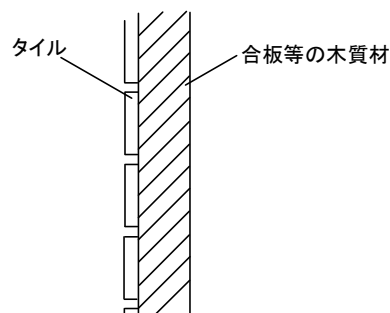
内容物			数量				ワークトップ
			コンロキャビネット				
			扉タイプ		スライドタイプ		
			70間口	60間口	70間口	60間口	
排水パイプ		排水パイプ					1
防臭キャップ		防臭キャップ					1
排水トラップ		1					
排水蓋		1					
ワークトップ固定金具		2					
ガス配管蓋		1					
ガス配管穴塞ぎ板		1					
前飾り板		1		1			
前飾り板取付金具		2		2			
前倒れ防止金具				2	1		
フロアキャビネット用 設置説明書(本書)		1					
フロアキャビネット用 取扱説明書		1					
吊戸棚用設置説明書		1					
製品等級表示シート		1					
TSTラスタツピンネジ	3.5x27		6				
トラスタツピンネジ	3.5x14		7				
	3.5x25		2				
	4x10		10				
					2		(前倒れ防止金具同梱)
	4x30				2		(前倒れ防止金具同梱)

加熱機器周りの壁面仕上げについては、火災予防条例にしたがい、有効な防火性能を有する仕上げであることを、必ず確認してください。有効な防火性能を有さない仕上げの場合は、別売部品の防熱板を必ず設置してください。

<有効な防火性能を有する仕上例>

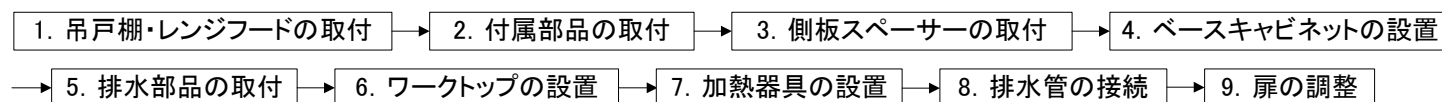


<有効な防火性能を有さない仕上例>



4. 設置方法

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。



1. 吊戸棚・レンジフードの取付

吊戸棚の取付は、コンロキャビネット付属の設置説明書にしたがって行なってください。

レンジフードの取付は、レンジフード付属の設置説明書にしたがって行なってください。

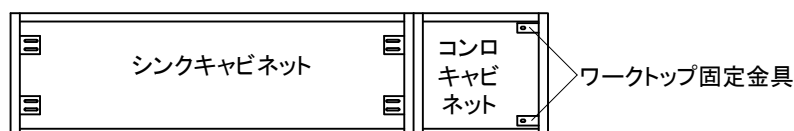
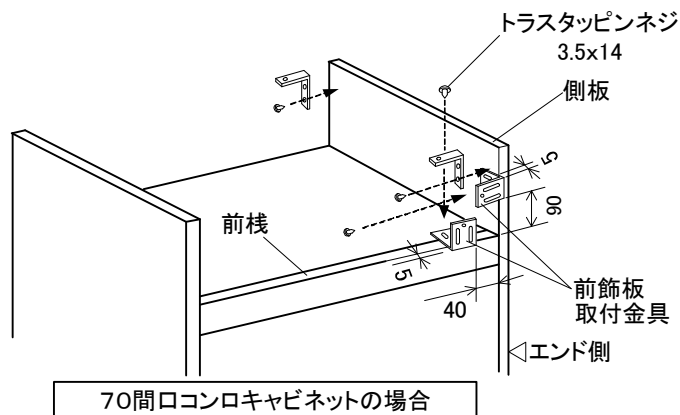
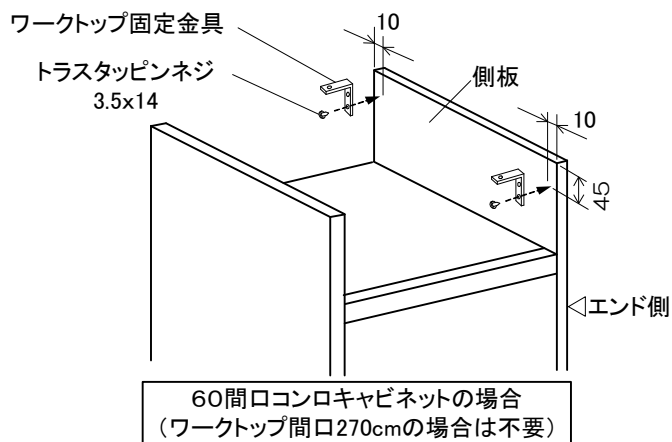
2. 付属部品の取付

①ワークトップ固定金具の固定(ワークトップ間口270cmの場合は不要)

コンロキャビネットエンド側の側板にワークトップ固定金具を取り付けてください。

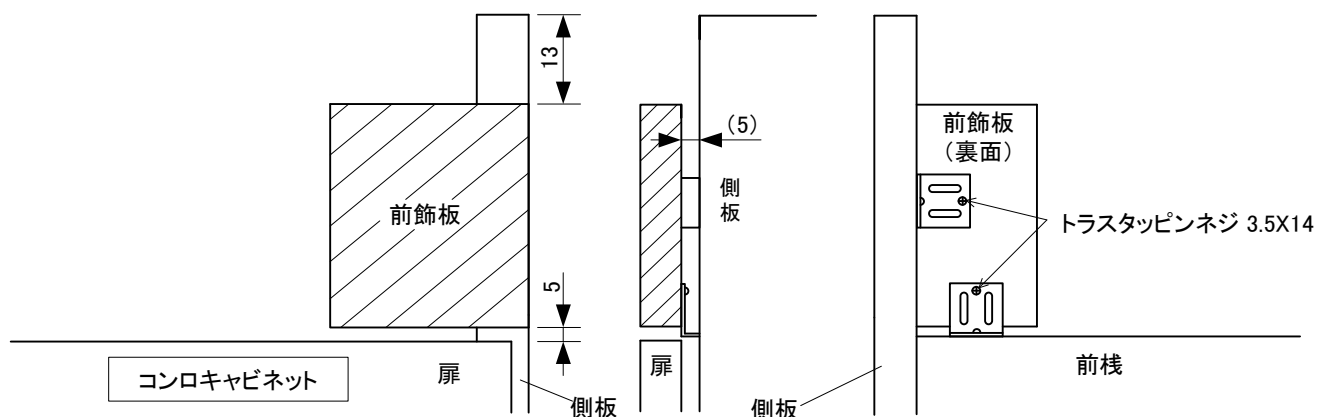
②前飾板取付金具の固定(60間口コンロキャビネットの場合は不要)

コンロキャビネットエンド側の側板・前棧に前飾板取付金具を取り付けてください。



③前飾板の取付(70間口コンロキャビネットの場合のみ)

下図のように前飾板の位置合わせを行い、前飾板取付金具より前飾板を固定してください。



3. 側板スペーサー[別売部品]の取付(オープンセットの場合のみ)

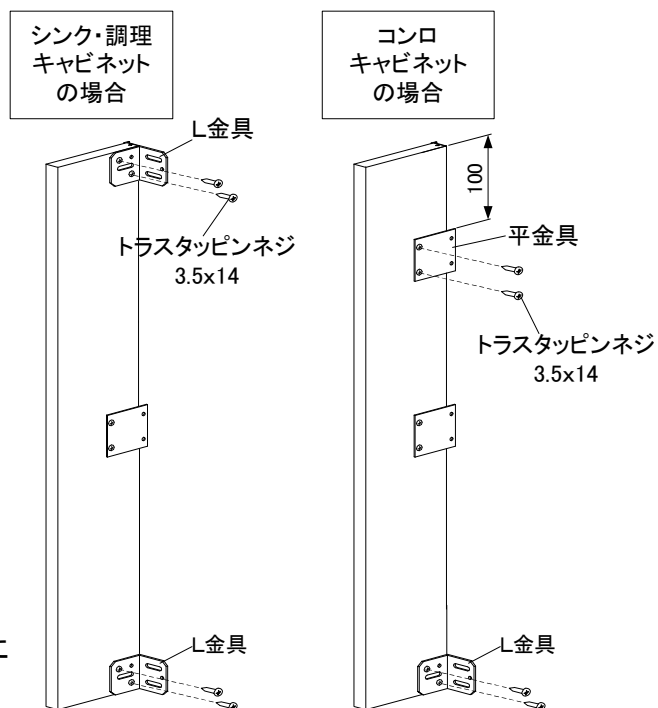
キャビネットがオープン側に設置される場合は、側板スペーサーの取付けが必要です。

①<シンクキャビネット・調理キャビネットの場合>

側板スペーサーの上下に、L金具を
トラスタッピンネジ3.5x14で取り付けてください。

<コンロキャビネットの場合>

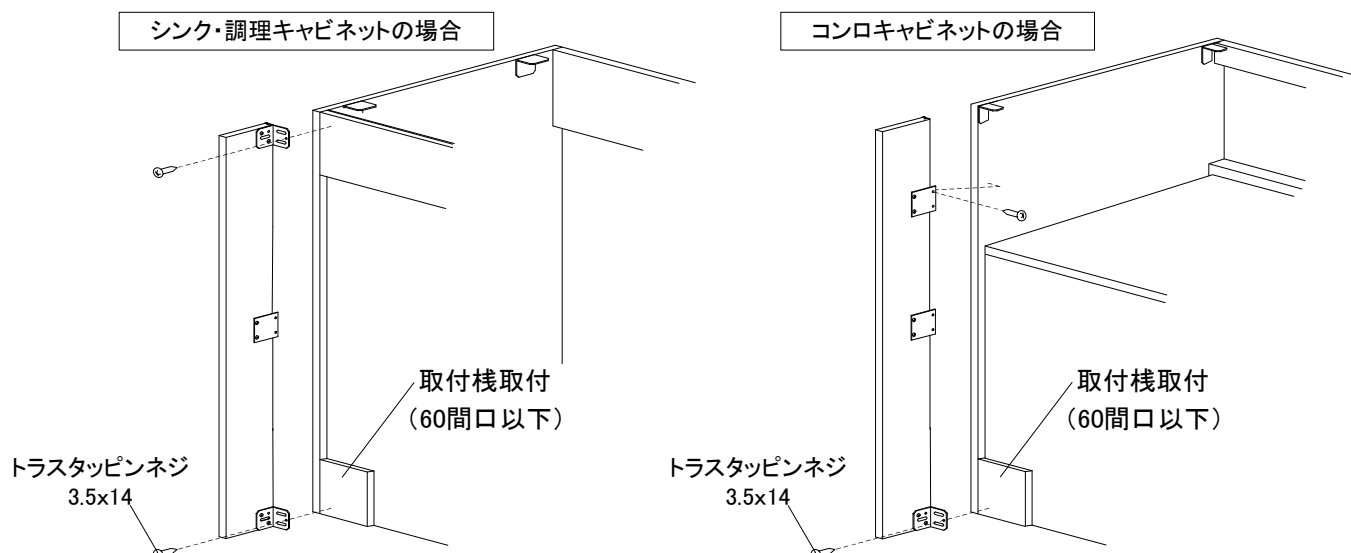
側板スペーサーの上側に平金具を、下側にL金具を
それぞれ取り付けてください。



②(調理キャビまたはコンロキャビ間口60cm以下の場合のみ)

付属の取付枠を下図のようにキャビネットの背面に
貼り付けてください。

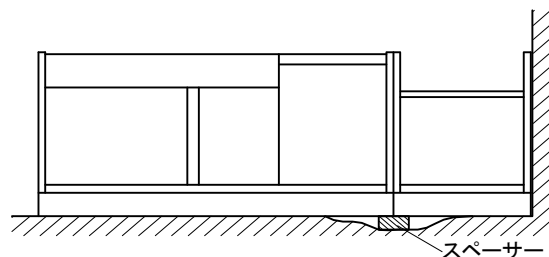
③側板スペーサーを、キャビネットのオープン側の側板後部に トラスタッピンネジ3.5x14で固定してください。



4. ベースキャビネットの設置

【1. キャビネットの仮置き・床面のレベル出し】

キャビネットを仮置きして、床面のレベルが出ていない場合は、キャビネットとの間に適当なスペーサーを入れてレベルを調整してください。



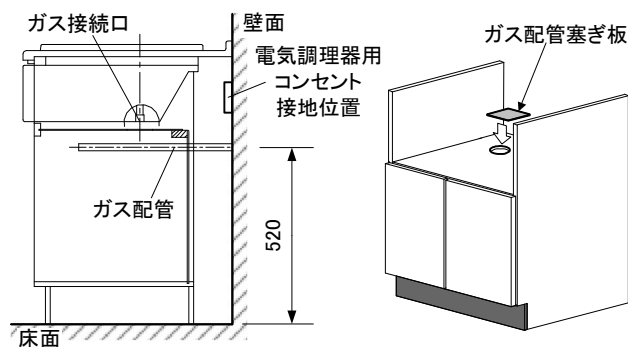
【2. ガス配管穴加工】

●ガスコンロの場合

コンロキャビネット後板に床面より520mmの位置でφ25～30程度の穴を加工し、コンロキャビネット内にガスを引き込んでください。
(70間口コンロキャビネットの場合は、上面の使用しない配管穴を付属の蓋で塞いでください。)

●電気調理機器の場合

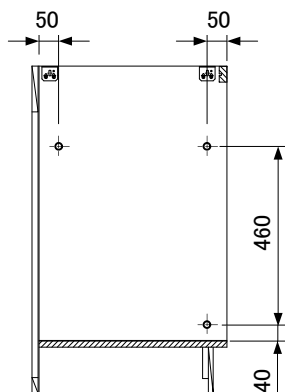
コンロキャビネット上面の配管穴を付属の蓋で全て塞いでください。



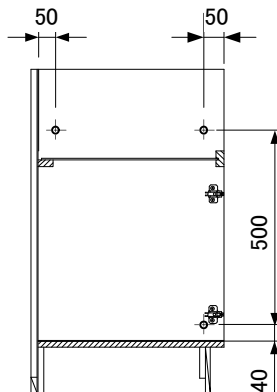
【3. キャビネットの連結】

- ①キャビネットの連結方向を確認して、連結作業が容易な方の側板に連結穴(φ4)を加工してください。
- ②連結穴より、トラスタッピンネジ3.5x27で連結してください。

シンク・調理キャビネットの場合

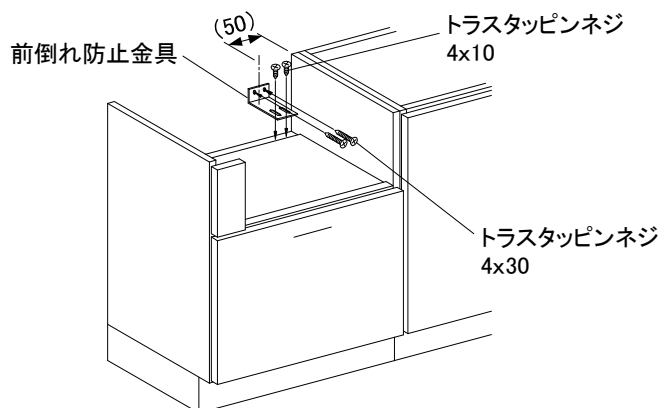


コンロキャビネットの場合



【4. 前倒れ防止金具の取付】(スライドタイプコンロキャビネットのみ)

- ①壁面までの寸法に合わせて、キャビネットの後板に前倒れ防止金具を取り付けてください。
- ②前倒れ防止金具を壁面に固定してください。

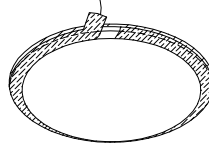


5. 排水部品の取付

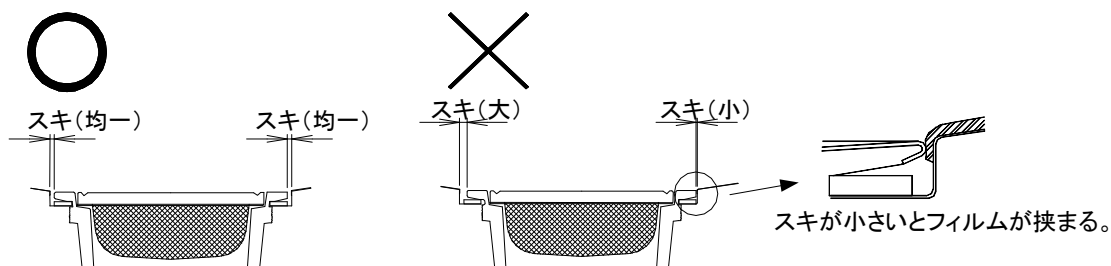
【1. 排水部品取付前の準備】

- ①トラップ取付部のフィルムをはがしてください。
- ②取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。

フィルムを剥がす。



注) 1. トラップ取付部にフィルムの切れ端しや異物が残っていると水漏れのおそれがあります。
2. トラップ取付部のスキがなるべく均一になるように取り付けてください。下図の×のようにスキが均一でないと、スキが小さい箇所でフィルムが挟まり、取りはずしにくくなります。

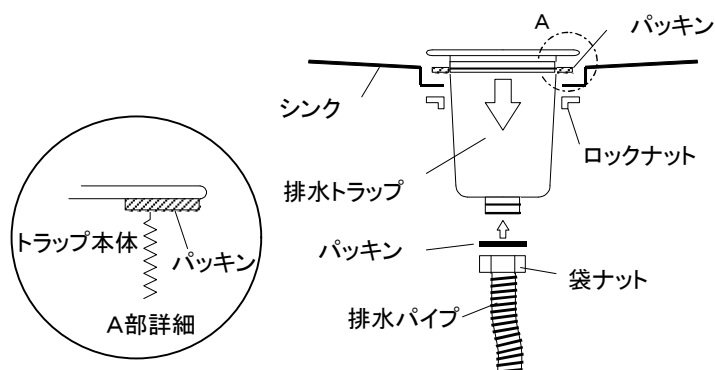


【2. 排水部品の取付】

- ①排水トラップにパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注)トラップ本体のパッキン溝部にパッキンが確実に収まっているか確認してください。

- ②ロックナットを締め付けてください。
(ロックナット締付工具は別途手配してください。)
- ③排水パイプにパッキンを取り付け、袋ナットで排水トラップに取付けてください。

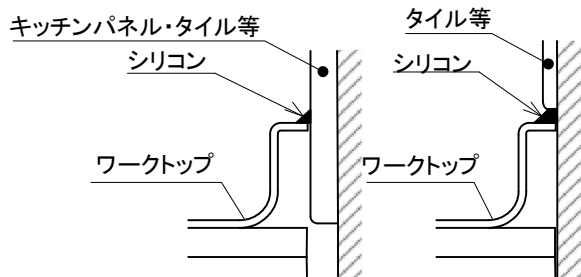


6. ワークトップの設置

⚠ 作業上の注意事項



壁等に設置するワークトップ部分は、シリコンでコーキング処理を行う



水が浸入した場合、腐食やカビの発生の原因になるおそれがあります。

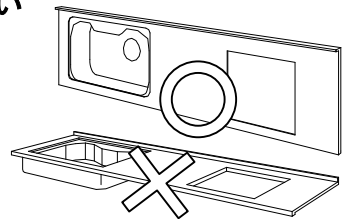


ワークトップ関連の作業を行っていない場合、ダンボール等で養生を行う

壁塗り、タイル張り、配管工事などに際して、モルタル、鉄くずなどでワークトップおよびシンクに傷がつくおそれがあります。



ワークトップを移動する場合は、水平にした状態で運ばない



水平にした状態で運んだ場合、ワークトップに損傷を与えるおそれがあります。



設置中、ワークトップおよびシンクの中などに乗らない

製品が変形・破損するおそれがあります。



シンナー、アセトン等の強力な溶剤で洗淨しない

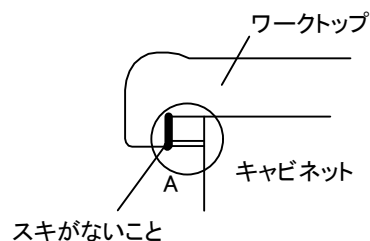
製品が変形・変色するおそれがあります。

【1. ワークトップの取付】

①ワークトップの仮置き

ワークトップをキャビネットにのせてください。

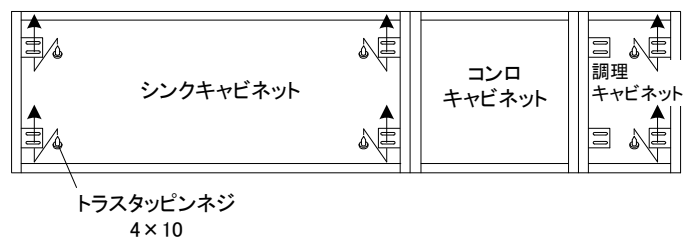
注)キャビネット前部とワークトップ前下がり部との間(A部)にスキがないようにワークトップを奥へ押し付けてください。



②ワークトップの固定

＜ワークトップ間口270cmの場合＞

シンクキャビネットと調理キャビネットの固定金具より、付属のネジでワークトップを固定してください。



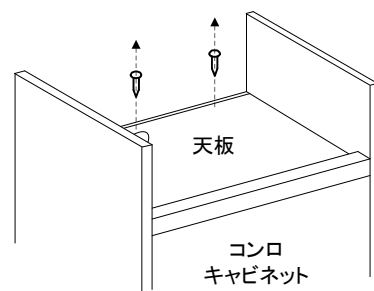
＜ワークトップ間口250cm以下の場合＞

シンクキャビネットとコンロキャビネットの固定金具より、付属のネジでワークトップを固定してください。



コンロキャビネットの天板はネジにて取り付けされておりますので、作業が困難な場合は、天板を取り外してください。

注)作業終了後、取り外した天板をネジにて取り付けてください。

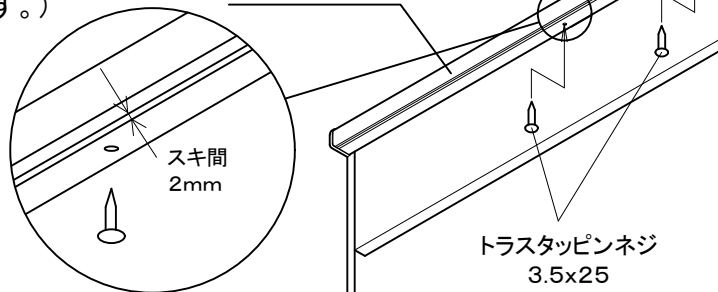


<スペーサー天板の場合>

調理キャビネットの固定金具より、付属のネジでスペーサー天板を固定してください。

③樹脂前枠とワークトップの固定 (シンクキャビネット180cm間口・150cm間口の場合のみ)

樹脂前枠よりワークトップ前下がり部に対し、2箇所固定してください。
(樹脂前枠にビス取付用の穴を2箇所加工しています。)



7. 加熱器具の設置

加熱器具に付属の設置説明書にしたがって行ってください。

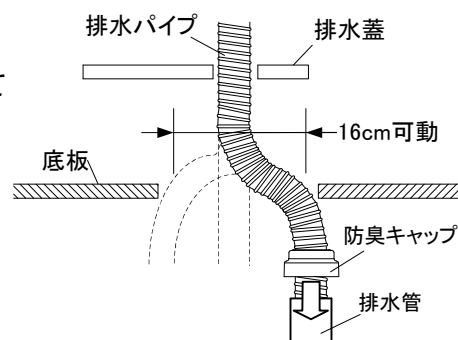
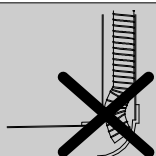
8. 排水管の接続

排水管の接続工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。

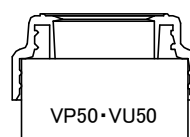
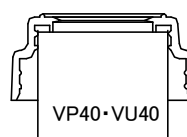
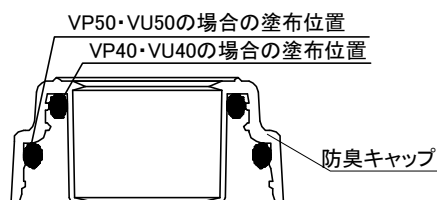
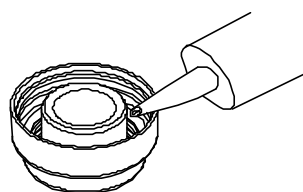
防臭キャップは、VP40・VU40・VP50・VU50に対応しています。

- ①排水パイプを底板排水蓋に通し、防臭キャップを排水パイプに取り付けて排水管の位置確認を行ない、排水の長さを調節してください。
排水ホースが長い場合は、必ず切断してください。

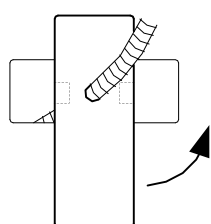
注) 排水パイプを長いまま差し込むと、
排水不良の原因になります。



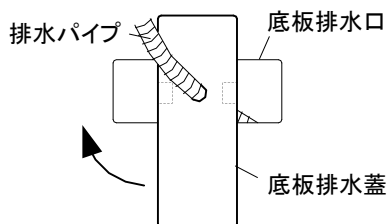
- ②設置時にシール出来るように、防臭キャップ内面全周にシリコン等のコーキング材を塗布してください。
- ③立ち上がっている排水管(塩ビ管)に上から被せてください。



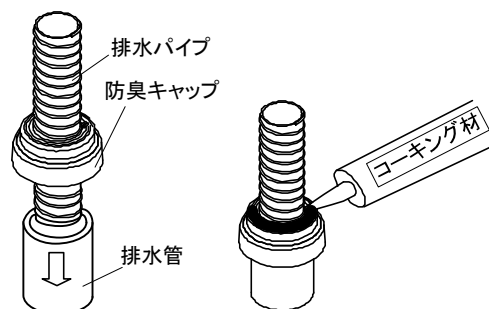
- ④防臭キャップと排水パイプの間をシリコン等でシールしてください。
- ⑤底板排水蓋をキャビネットの底板に取り付けてください。



<排水管が左よりの場合>
底板排水蓋を右に回して
固定してください。



<排水管が右よりの場合>
底板排水蓋を左に回して
固定してください。



注) 直管配管の場合は、トラップより先は
現場手配の部品で接続してください。

9. 扉の調整

【1. 丁番の調整】

①前後調整

Cのネジを緩めることにより扉が前後に動きます。

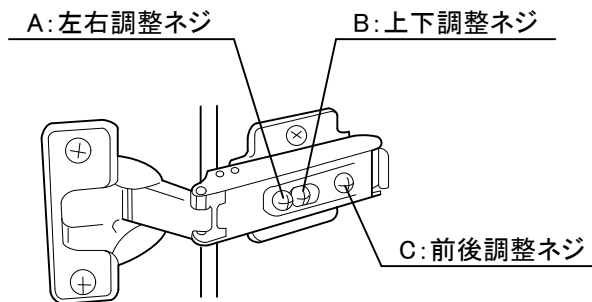
②左右調整

Aのネジを調整することにより、扉が左右に動きます。

③上下調整

Bのネジを緩めることにより扉が上下に動きます。

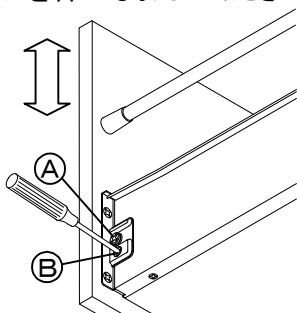
注) 調整終了後、緩めたネジを締めなおしてください。



【2. スライド扉の調整】

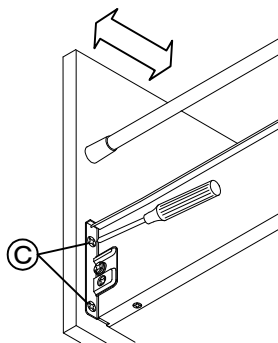
①上下調整

「A」のネジをゆるめ、
「B」のネジを回して上下を
調整した後、ゆるめた「A」の
ネジを締めなおしてください。

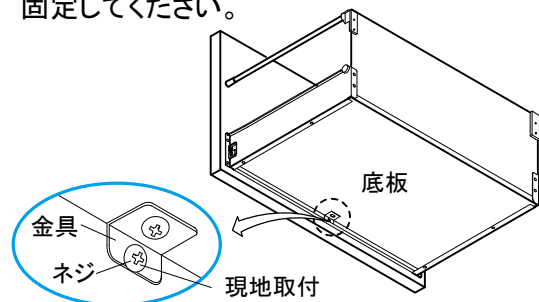


②左右調整

両側の「C」のネジをゆるめて
左右を調整した後、ゆるめた
ネジを締めなおしてください。

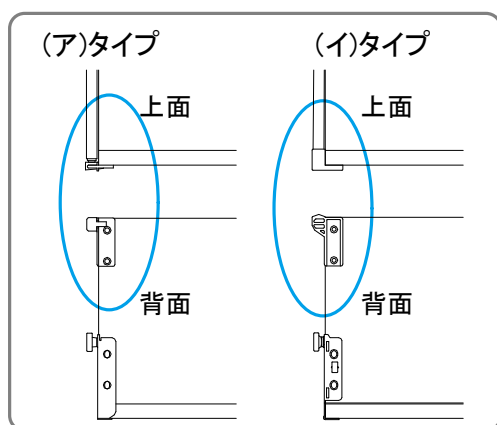


・調整後、スライド扉裏面の取付穴から
トラスタッピンネジ3.5x14で金具を
固定してください。

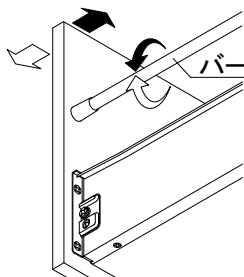


③前後調整

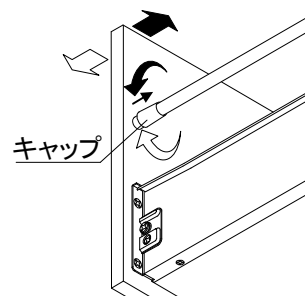
引出後側の構造が(ア)・(イ)タイプの2通りあり、調整方法が異なります。



〈(ア)タイプの場合〉
バーを回して
調整してください。



〈(イ)タイプの場合〉
キャップを少し引き抜いた状態で
キャップを回して調整してください。



5. 仕上げ

【1. コーキング処理】

ワークトップ周囲等、必要と思われる部分をコーキング処理してください。

【2. 清掃】

ワークトップおよびキャビネットの汚れ、ゴミ等は、中性洗剤をつけた布でふきとってください。
洗剤を使用した場合は、必ず水拭き、空拭きを行い洗剤が残らないように注意してください。

6. 安全点検および試運転

【1. 安全点検】

①扉の確認

扉の傾き、がたつきや丁番の緩みがないことを確認してください。

②排水部の確認

排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。

【2. 組込機器の試運転】

キッチンに組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順に従って正常に作動することを確認してください。

7. お願い事項

【1. 商品の養生】

すべての設置作業が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

【2. 取扱説明書の保管・引渡し】

キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、キャビネットの引出しに収納しお引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

本設置説明書に関しても、次工程および保守等に必要な場合がありますので、取扱説明書と同様に保管してください。

【3. 梱包材その他設置用部材の処理】

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

[illegible]

[illegible]

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

モクセイフラットセッチセツ(2) 01-2



12514741